

エコチャレンジ座談会 を開催しました

「なよろエコチャレンジ2013夏」は、省エネを推進するため、市と消費者協会が連携して取り組む事業で、ご家庭での8・9月の電気使用量の合計が、前年比10%以上の削減することを目標に13人が参加し、9人の方が達成しました。

この度、エフエムなよろのご協力により達成者4人(庄子さん・関根さん・石原さん・市内在住の主婦の方)による座談会を開催し、それぞれ取り組まれた節電方法についてお聞きしました。
今月号と2月号の2回にわたり節電の取り組みについて掲載します。今回は茶の間・台所編です。



茶の間ではどんな取り組みをしましたか？



庄子 これまで家にいるときはテレビをつけたままでしたので、観たい時だけつけるようにしました。そのほか脱衣所の照明はつけないようにしました。最近はお妻の方が節電に精を出しています。



関根 家の電気量を調べたら、テレビと照明で152ワット使用していたため、早寝早起きを心がけ、なるべく照明を使わないようにしました。節電は家族の協力がないと難しいので、妻と話し合い徐々にLED電球に取り替えました。そのほか洗面所については電球型白熱灯も使用しました。



石原 テレビはリモコンで切らずに主電源で切るようにして、待機電力を節電しました。主電源スイッチを切るという行為が自分自身の節電に対する気持ちの切り替えとなりました。

主婦 みなさんと同じくテレビは主電源で切りました。また照明は遅くまでつけなかったり、小まめに切ったりしたほか、LED電球に取り替えました。そのほかポイラーは使用しないときは電源を切りました。

台所ではどんな取り組みしましたか？
主婦 炊飯器を使わずにガスを使い、圧力鍋でご飯を炊くようにしました。いろんな料理に利用でき、ガスの節約もできました。また電気ポットの使用をやめました。

ました。

石原 電気コンロからガスに変え、圧力鍋で短時間に料理しています。

関根 電子レンジは使わないようにしました。グラタンなどは魚焼き器で作っています。ほかには炊飯器でご飯を炊き、すぐに冷蔵庫で保存しました。電気ポットを止め、急速湯沸かし器でお湯を沸かし、すぐに魔法瓶に入れて使用しました。また、冷蔵庫をエコタイプに入れ替えました。おかげで電気料金が月額2千円も減りました。

庄子 これまで一日中炊飯器の電源を入れていましたが、炊いたご飯はおにぎりにして冷凍しました。

今冬、北海道電力では6%以上の節電をお願いしています。座談会に参加した方の取り組みを参考に、ご家庭で無理のない範囲での節電にご協力をお願いします。

座談会の内容は、エフエムなよろ「AIRてっし」で12月30日(月)午前10時からと1月5日(日)午前9時から放送します。